

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第48号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行 東北風景写真家協会 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8 パルシテイ仙台1階F号 東北カラーデューブ株式会社榴岡店内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 編集 阿部・丸山

## 「日本の桜」展・開催

### 当協会名誉顧問竹内敏信先生写真展

3月15日(金)〜4月3日(水)の日程で、富士フィルムスクエアに於いて、富士フィルム(株)の主催で開催される「日本の桜」の作品展と先生が厳選した未発表作品67点を迫力の大画面で展示しました。今回の展覧会は平成最後の大規模な写真展と前評判も高く期待されていました。

「春になると、毎年毎年、まるで憑かれたように桜を求めて旅をしてきた、桜力(さくらじから)というか、桜霊力が宿ってしまったのではなかろうか」日本の風景写真の第一人者、竹内敏信先生が語るように、日本の原風景のなかでも、



## 8年の歩みをふりかえり

### 音楽のちからから進藤弘融

東日本大震災から早8年、多くの音楽家が被災地向かい、音楽を通じて復興支援活動が現在も続いております。その活動を支えているのは、被災者やボランティアのみなさんです。その活動記録をボランティアカメラマンとして参加している5名全員「この1枚を語る」で、

始まりました。仙台市の出版物掲載写真を撮られている佐々木隆二氏より、私にボランティアアカメラマンとして参加依頼のお声掛けを頂き、4月29日に初めて登米市柳津・津山の若者体育館に於いて開催された弦楽四重奏の復興支援演奏会に出向き撮影させて頂きました。初めての撮影で、初めの頃は避難所でしたが、その後仮設住宅の集会場等になりました。最近では福島県での演奏が多くなり、2月は2回、3月は2回で3か所に掛けて撮影を続けました。初めの頃は避難所でしたが、その後仮設住宅の集会場等になりました。最近では福島県での演奏が多くなり、2月は2回、3月は2回で3か所に掛けて撮影を続けました。初めの頃は避難所でしたが、その後仮設住宅の集会場等になりました。最近では福島県での演奏が多くなり、2月は2回、3月は2回で3か所に掛けて撮影を続けました。



メモリアルコンサート

「この1枚を語る」

### NHK泉フォトサークル 第15回写真展「彩四季(さいじき)」

会場：東北電力グリーンプラザ プラザギャラリー NORTH[北]  
期間：令和元年6月18日(火)〜6月23日(日) 午前10時〜午後6時(最終日は午後4時まで)

### 先崎康人写真展「サクラ尽くし」

会場：仙台メディアテーク  
期間：2019年7月5日(金)〜10日(木) 午前10時〜午後6時 [最終日は午後3時迄]

### 萩原俊哉先生スライド&トークセミナー

1、場所：日立システムズホール仙台 3階エッグホール  
2、日時：令和元年10月1日(火)  
開場：午後0時30分  
開始：午後1時00分  
終了後別会場にて懇親会を予定

詳細につきましては、次号にてお知らせの予定です。ご期待下さい。

## 2019年度 撮影実習セミナーのお詫び

春萌える鶴岡市田表侯「たにしの楽校」を主会場に「撮影実習セミナー」の開催を予定しておりましたが、参加希望者が予定の人数に満たなかったためやむなく中止となりました。お申込みいただきました会員の皆様には大変申し訳なくお詫び申し上げます。今後は魅力ある企画を検討してまいりますので、より多くの皆様のご希望をお寄せ下さい。そしてご参加をお願い申し上げます。

### お願い

★令和元年度年会費の  
ご入金をお願いします

当協会の各種企画事業や「東風季報」の作成、発行、郵送料等は皆様の年会費にて運営しております。

年会費(3,000円)未納の方は、左記いずれかの口座宛至急お振込み下さい。振込手数料はご負担をお願いいたします。

●七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 5272599  
●東北風景写真家協会 ゆうちょ銀行 181901  
●トウホクフウケイ 14388881  
●シヤシンカキョウカイ  
お問い合わせ先  
会計担当 孫田幹事宛  
090123601  
2973

### お知らせ

★写真コンテスト  
上位入賞者  
第16回 日本写真家協会  
公募展

入選 氏家 芳雄  
刀匠・法華三朗信房  
銅賞 相原 智恵子  
水鏡桜

★新規入会会員ご紹介  
平岡博 (百理郡百理町)

★ご連絡下さい  
写真コンテスト及び公募展に入賞または入選された方、写真誌に掲載された方、また、個人やグループで写真展を開催される方も、ご連絡下さい。

(敬称略)



# 『カメラ事始め』

鈴木 真知子

▼令和元年 おめでとう  
 皆さま  
 諸先輩方も新たな目標を持ち、撮影に臨んでいられること存じます。そんな中、経験不足の私が何を書けばよいのか？ただ楽しいだけで写真にのめりこんでいるのですから

▼やはりここは『カメラ事始め』という事で。  
 元々主人の仕事の関係で私達は気仙沼に住んでいましたが、震災で家が全壊し20年振りに仙台に帰って来ました。幸い主人の新しい職場も決まり、少しずつ日常に戻りましたが、緊張や疲労が蓄積したのでしょうか。2度目の冬、気付けば私は家に引きこもり悶々としていました。年が明けても相変わらずでした。が、ちょうど私達夫婦が還暦を迎える年でした。

娘夫婦から何度もお祝いの品について聞かれましたが、主人は祝い金などと無粋なことを言う始末で、娘たちにお任せになりました。当日、娘夫婦からお祝いが渡され、私にはカメラ（オリンパス E-PL3）でしました。

▼震災直後、カメラを失くした私に娘がカメラを買ったことになったのですが、私は「一眼レフが欲しい」と冗談を言ったのです（結局コンパクトカ

メラを頂きました。私はすぐそれを思い出し、飛び上がって喜びました。しかしカメラを箱から出してからが大変！どこがどうなっているの？娘に聞いてもつれない返事で、最後は「何処かに勉強しに行ったら」と言われてしまいました。

▼さすがに一念発起し某カルチャー教室に潜り込みました。初心者向けという割にレベルが高く？カメラの使い方の講義は1回のみで、後は日々の食事撮影が宿題になりました。似た者の友人たちとお茶しながら研鑽を重ねたものの（先生が仰った事解った？全然解ん

なかつた、等）、結局この教室は辞めることに。▼今度は写真をかじったことがある親友の佐藤さんを誘いNHKのカルチャーセンターに突撃。健康のためにウォーキング教室、お花畑とかいいよね（カメラ持ってね）と盛り上がり受付に行くこと、何という

ウォーキング教室は大人気で空きがありません。そこで受付の方が勧めてくれたのがNHKのネイチャーフォト（竹内先生）でした。「本当に初心者

です」と言う私達に受付の方は「先生がとても優しく何でも教えてくれますよ」と。

▼陥落！お弁当、飲み物、おやつを準備して参加した1回目は今思い出しても赤面です。でもこの時、先生のもとの写真撮影にはまっちゃいました（後に先生のペンタックスの教室にも入れて頂き、似た者の友達も誘って皆で楽しく勉強を続けております）。私はE-PL3でカメラに慣

れ、翌年覚悟を決めてK13を購入しました。佐藤さんにも発破をかけて：今では二人、同じカメラで楽しんでおります。▼ここまで続けられたのは撮影の楽しさだけではなく、竹内先生をはじめ諸先輩方がとても魅力的で学ぶことが多いからだと思ひます。

これからは皆様の後ろをマイペースで歩いて歩く所存ですのでよろしくお願ひ致します。

被災した自宅



# 現場写真の失敗

第三話 及川 剛司

◆東風季報の編集者から寄稿文の連載と言われ、今回三回目になります。

「猿もおだてりや木に登る」で三本目の太い枝に手を架け、すがり付きながら今回は、過去にあった「仕事上の写真の失敗」についてお話しします。

◆私は、常々仕事上カメラを持参して居り、現場調査写真、現場管理写真を撮りました。

デジタルカメラに変わってからは、入札閲覧内容を撮影し、帰社後内容を認める。まるでスパイ映画の様にカメラを活用していました。

◆さて、「現場写真の失敗」談であります。フィルムカメラ時代の単純ミスのお話です。

フィルムカメラを使用した方ならお分かり頂けると思いますが、カメラにフィルムを入れる時、フィルム先端が巻取軸のフィルム差し込み溝に十分に差し込まなかった事で起きた単純ミスです。

◆フィルムが巻取軸に巻かれず、空シャッターの状態にあるのに気がつかず、現場写真撮影作業を行い現像に出しました。戻ってきたネガには何も

映っておらず、仕事上やっつけはいけない過ちを犯したので。

このときのカメラは、トプコンREスーパー眼レフで、30年以上前の話ですが、失敗したカメラは忘れないもので、勿論撮り直しの為に、翌日盛岡に技術者と出張しました。

◆次は確信犯による失敗談のお話です。

あるトンネル内点検作業において、作業報告書に添付する「点検作業状況写真」の撮影のお話です。

トンネル内のオレンジ照明近くの撮影は、会社支給のストロボ内蔵コンパクトカメラでは、この照明の光に負けてしま

い、まともな写真が撮れません。

◆撮影者は高所作業車に乗って撮りますが、この時の写真撮影担当者は、カメラマニアであり、私もペンタックス愛用者でありますから、この現場環境での写真撮影は、失敗する可能性が有る事に十分に分かっています。

再度撮り直しする事を確認したのは当然であります。

◆後日、独断で最新一眼レフカメラ、ニコンF8 O1とSB24のストロボを購入し、再度、作業員10名以上、トンネル内片側交通規制を行い、大がかりな「再写真撮影」でした。

◆撮り直しを行った写真は、勿論発注側からお褒めのお言葉を頂き、報告書と写真アルバム、ネガアルバムを正式に提出しました。

仕事である以上、現場写真の失敗はできません。撮り直しを行っても、報告書に添付する写真は現場状況が分かる写真です。

◆真冬に真夏の工事写真を撮る撮り直し撮影で一番困るのは、日に四季がある事です。背景処理が

困りますので、できるだけアップで撮影しますが、見

える部分に雪がある場合、雪はバーナーで溶かします。しかし、溶けた雪の下から枯草が出てきます。夏は青草であり、この違いはどうにも出来ません。

◆写真は「真実を写す」事を知りました。

フィルムの時代の写真撮影の失敗は、振り返って見てみると実に楽しいもので、まだまだこの手の話はいっぱい出てきます。何事も失敗して、進歩する事も知りました。

◆その後デジタルカメラに移行しますが、若い社員は、写真撮影をあまり失敗しません。しかし、撮影目的が理解できないのか、写りの良い写真は撮れますが、現場写真として使えない写真が多く見られます。

◆年配社員はデジタルカメラ操作が分からず、失敗して居ります。私もその一人かもしれません。おしまい。

TTTL測光方式のパイオニアトプコンREスーパー



# 「終わり、はじまる」

最終話

◆この東風季報に掲載させて頂いて、早くも四十五話を数えました。時或ることに写真に関する考

えや、思い出、失敗、歴史、希望、そして感謝の気持ちで溢れてきました。

このドキュメンタリー映画の筋書きは、映画のタイトル「終わり、はじまる」に凝縮されているように思いました。

◆思い返せば第一話は、二〇〇七年十一月発行の第二号でした。余り硬い話にせず、写真の裏話的に記事に書き始めたのが最初です。まだまだフィルムカメラが主力の時代で

した。ようやくデジタルカメラも出始めましたが、まだ性能や写真の出上がりに不満が残る時代でした。

◆この二十二年間で四十四話を書き五十話までを目指しましたが、話の種が尽きました。かなりこじつけた話が多くなってきました。反省しきりです。

◆今回最終話のサブタイトル「終わり、はじまる」は、5月12日に鶴岡市田代で行われた「たにし」の楽校開校式で上映された映画の「タイトル」です。東北芸術工科大学映像学科7期生卒業制作作品として本宮市の古い映画館と、田代侯のたにし楽校を題材としたドキュメンタリーです。古いものを大切に保

存する心を、現地に足を運び丁寧に取材し、人の琴線に触れる素晴らしい作品に仕上げられました。感動と感謝の気持ちで溢れていました。

このドキュメンタリー映画の筋書きは、映画のタイトル「終わり、はじまる」に凝縮されているように思いました。

◆「終わり、はじまる」なんだ。私たちは物事が終息すると、ここで「The END」と決めてしまおう。と言うか、安心してしまおう性質がある。実は違うのではないか。終わった時、ここから新たなスタートが待っている。そして新しい道が続いて行く。その道は希望に満ち溢れている。だから「終わり」は決して終りではなく、新たな出発点でもあることに気がつくのです。また新しい出会いと、輝かしい未来が私達を誘うのです。

人生には、人それぞれいくつかの節目があるとされます。その節目が大きい小さいかは個人個人違いますが、その節目が多いほど楽しく、苦しく、そして変化に富んだ人生になったと思いませんか。振り返ればそれがあなたの今を形成しているのだと思ひます。節目節

目新しい線路に乗換えて行き、今、この駅に立っているのです。まだ終着駅では無いのです。途中駅です。終着駅は最後です。この線路はまだまだ続きます。

◆そう言えば歌のタイトルに「終着駅は始発駅」と言うのがあります。終なるほど上手いなあ。終着駅に着いた列車は、必ずそこを出発駅としてスタートをするんじゃないか。私達も終着駅はまだまだ先だ。ここは終着駅ではなく乗換え駅なんだと考えると、心新たにしよう。

◆私は今回このコラムで最終話を掲載させて頂きました。これまでお読みいただいた会員各位に感謝申し上げます。

◆そして四十五話まで編集掲載していただいた東北風季報編集担当の方に、深く謝辞を申し上げます。

（二〇一九年六月九日）

◆編集後記  
 一面の記事は竹内会長より当協会顧問内敏信先生の「日本の桜」展の記事、進藤副会長の「音楽のちから」、会員の写真展開催のご案内等を掲載いたしました。

◆2面の記事は鈴木真知子さん・及川剛司さんに快くお引き受けいただきありがとうございました。及川さんと丸山幹事長は連載です。この季報は皆様のご投稿で作られています。撮影ポイントのご紹介や撮影のテクニックなど、皆様のご投稿をお待ちしております。